

北中学校だより

楓

(かえで)

令和8年9月28日(月)

第29号 東金市立北中学校

〒283-0803 東金市日吉台 1-20

TEL 0475-50-2288

発行者：校長 久我 和廣

学校教育目標

創 【未来と拓く】

～輝く瞳、笑顔とあいさつ、光る汗～
めざす生徒像

「考え、行動し、夢をもって成長する」生徒

- (1) 学び合い、高め合う生徒⇒輝く瞳・・・(知)
- (2) 認め合う、心豊かな生徒⇒笑顔とあいさつ・・・(徳)
- (3) 心身共に健康な、たくましい生徒⇒光る汗・・・(体)

校訓 自分らしさと光らせて

めざす学校像

- (1) 学力向上に努める学校
- (2) あいさつと歌声が響く学校
- (3) 安全で安心してすごせる学校
- (4) 地域とともに歩み、信頼される学校



星野富弘さん

星野富弘さんは群馬県出身です。そして、口に筆をくわえて詩や絵を描く方です。

中学校の体育教師として着任した年の6月、放課後の部活動で生徒と共に行っていた宙返りの練習中にマットへ頭から落ち、頸髄を損傷し首から下が全く動かなくなりました。首から下が動かないのですから、生活の全てのことをしてもらわなければならない生活だった星野さんは、気の遠くなるような時間と努力の結果、口に筆をくわえて絵や詩を書くことができるようになっていきます。ペンに巻き付けていたガーゼが唾液でぐっしょりと濡れ、力を入れてかみしめながら描いていくために、歯茎から出血し、それでも書き続けることをやめませんでした。その作品にたくさんの人々が心を打たれました。

作品を横からのぞき込んで一緒に歯を食いしばり、額に汗をにじませながら作品制作を応援し続けたのは、お母さんでした。星野さんはそのお母さんに次のような作品を贈っています。

神様がたった一度だけ
この腕を動かしてくださるとしたら
母の肩をたたかせてもらおう
風に揺れるぺんぺん草の実をみていたら
そんな日が本当に来るような気がした

「叶わない願いかもしれないけれど、もし、神様が自分の腕を動かしてくれたなら、お母さんの肩をたたかせてもらいたい。」

ぜひ、皆さんも星野さんの作品を調べみてください。

イブラヒム エルフセイニ・ハマドトゥさん

2016年リオデジャネイロパラリンピックと2020年東京オリンピック・パラリンピックに卓球に出場したエジプトのイブラヒム エルフセイニ・ハマドトゥ選手。

彼は、10歳の時に電車のドアからの落下事故で両腕の肘から先を失いました。

13歳の時に、卓球に出会い、試行錯誤の上、ラケットを口にくわえ、サーブは床に置いたボールを右足でトスするプレースタイルを確立。口にラケットをくわえ、足の指でボールをはさんでサーブトスして、首を振って左右にショットを打ち分けてのプレースタイルは、血のにじむような数多くの努力を積み重ねてできあがったものだということでした。大会結果は上位進出とはなりませんでしたが、ハマドトゥ選手は、私たちに「不可能はないということを証明したい。できないことはない」と世界中の人に知ってほしい」というメッセージを残して会場をあとにしました。

世の中には、私たちでは計り知れないほどの苦労や努力をしながら懸命に生きている人たちがいます。今回二人の方々を紹介させていただきました。

お知らせ

過日、9月7日付文書にてお知らせしたとおり、2学期のフリー参観日は11月6日(金)から11月9日(月)に変更させていただきます。

